

多賀城市からのお知らせ（再送）

送付枚数（送り状含む）3枚

～復興へ向けてこころひとつに～

秋川雅史さんと歌う

歓喜の歌 多賀城第九コンサート

平成24年11月28日

多賀城市総務部地域コミュニティ課

広報広聴係

368-1141 内線255

11月22日付けでお知らせしておりました、アサヒビールホールディングス株式会社から贈られる寄付金により、標記事業を開催することになりました。

この事業は、文化芸術活動による本市の復興を目的とするもので、多賀城第九合唱団を結成し、ステージと観客が一体となった市民1,000人のコンサートです。

今回寄付金の贈呈式と事業概要の発表を下記のとおり行いますので、報道・取材方よろしくお願いたします。

記

日 時：平成24年11月30日（金）午後2時から

会 場：多賀城市役所2階 市長応接室

来 庁 者：アサヒビール(株)仙台支社長 大西 恒市 氏

■このことについての問い合わせは・・・

多賀城市教育委員会生涯学習課

368-1141 内線543、544

● 公 演 概 要 (案) ●

～ 復興へ向けてこころひとつに ～

秋川雅史さんと歌う 歓喜の歌 多賀城第九コンサート

日 時 : 平成25年3月17日(日曜日) 14:00～(開場 13:30～)
場 所 : 多賀城市文化センター 大ホール
入場料 : 入場は無料、整理券市内配布
曲 目 : 交響曲第九番 歓喜の歌 作曲: ベートーヴェン

出 演 : 指 揮 石川 真也
管弦楽団 仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

ソプラノ 佐藤 順子
アルト 高山 圭子
テノール 松尾 英章
バリトン 高橋 正典

合 唱 多賀城第九合唱団

特別出演 秋川 雅史

● 企 画 目 的 ●

東日本大震災では多くの市民が犠牲になりました。多賀城市文化センターに避難した人だけでも3000人。その苦しみと涙を毎日共有していました。今こそ、市民みんなで笑顔になりたい。ステージと観客と心をひとつにして全員で歌いたい。震災で味わった、物質の有無では埋めることの出来ない喪失感を、歌という形で満たしたい。会場全体で、勇気と元気と感動を共有したい。そんな思いから、あらゆる苦難を乗り越えて歓喜へ向かう第九の歌詞に復興への希望を込めてこのコンサートを開催します。

● 企 画 概 要 ●

- 【 1 部 】 プロローグ秋川雅史さんと共に ～コンサートの幕明け～
秋川氏のソロ「千の風になって」ピアノ伴奏
MC から参加者を紹介
- 【 2 部 】 第九コンサート全楽章 ～苦難から歓喜へ～
生のオーケストラと合唱
ステージと客席が一体となって感動を共有
- 【アンコール】 ～そしてひとつに～
- ・第九(一部)の日本語レクチャー・・・指揮者指導
 - ・ステージと会場が全員で第九(一部)合唱
 - ・ステージと会場全員で「ふるさと」を歌う

第九コンサートの概要

【第 1 部】プロローグ 秋川雅史さんと共に ～コンサートの幕明け～

(約15分)

- ・秋川雅史さんのソロ（千の風になって）ピアノ伴奏
- ・音楽に詳しく楽しい雰囲気盛り上げられるMCが司会進行。
- ・MCの紹介中に楽団入場・合唱団入場。
- ・指揮者入場。
※ステージには合唱団用の平台と椅子・楽団用の椅子。
※ピアノを下手の花道付近へ移動しながら、オケの一部スペース設営。

【第 2 部】第九コンサート全楽章 ～苦難から歓喜へ～ (75分)

- ・練習を積んだコーラス150名と生のオーケストラ70名の壮大な音楽を、実体験する。
- ・秋川雅史氏には、合唱の一員として歌う。
- ・ステージ奏者と客席が一体となって感動を共有する。

【アンコール】～そして1つに～

(10分)

- ・客席と全員合唱のために、指揮者による第九の一部をレクチャーする。
- ・前もって客席には（一部日本語で歌う部分だけ）歌詞カードを渡す。
（合唱団公募とは別に、当日一緒に歌いたい人を募集し3回くらい練習）整理券裏に記載。
- ・有名な第九が身近なものと感じてもらい、1フレーズでも合唱できたら満足感と同時に会場が一体となる。
- ・最後に会場全体で「ふるさと」を合唱する。

ステージ奏者と観客で創りあげる市民参加型の復興コンサートを実感してもらおう